

水虫

のもと皮膚科クリニック 野本 真由美

(2006年4月10日放送)

Q 爪白癬とは？

A 爪の水虫（爪白癬）は、爪が白く濁ったり厚くなったりします。かゆみなどの自覚症状はありませんが、放っておきますと爪がボロボロに壊れたり、他の爪にもうつっていきたりします。このタイプでは外用剤があまり効きませんので、初めから内服治療をしっかりと行うことが重要です。

Q 爪白癬の治療とは？

A 最近ではイトラコナゾールといわれる薬と、テルビナフィンといわれる薬の2つがよく使われます。どちらも爪白癬に有効ですが、内服のしかたが異なっており、それぞれ一長一短がありますので、皮膚科でよく説明を受け、ご自分に合った薬を選んでいただくのがよいと思います。

Q 薬の服用期間は？

A 内服していただく期間は、イトラコナゾールで3ヶ月、テルビナフィンでは6ヶ月ですが、その期間ですっかり治ってしまうかというと、そういうことではなく、どちらの薬剤にしても爪が完全にきれいになるまでには1年くらいかかると思っていたほうがよいでしょう。

Q 時間がかかる理由は？

A 足の爪は伸びる速度が遅いため、完全に生え変わるまでに半年から1年くらいかかります。ただし内服を中止しても薬効成分がしばらくは爪の中に残存しますので、爪が完全にきれいになるまで飲み続ける必要はありません。

Q 感染しやすいケースとは？

A 白癬菌は、ヒトを好む菌ですので、感染したヒトから、マットやスリッパ、共同浴場の床などを介して、まだ感染していないヒトへ感染するという経路が最も多いと考えられています。

Q 水虫に感染しないためには？

A まずヒトからうつされないようにすることが第一です。たとえばご家族の中に水虫の方がいれば早めに治療を受けてもらうことが最も重要なことです。足ふきマットやスリッパを共用しないようにしていただき、プールや共同浴場などを利用したあとは帰宅してからもう一度足を洗っていただいたほうがよいでしょう。

たとえ足の裏に白癬菌が1回付着したとしましても、必ず水虫が発症するわけではありません。1日1回足をきれいに洗うことで発症を予防することができます。

Q 履物（靴）などの注意点は？

A よく知られていますように高温、多湿の状態は白癬菌の角質層への侵入を促します。革靴やブーツなどを長時間はくことによって足に付着した菌が定着しやすくなります。それから皮膚に小さな傷がつくことによって菌が角質に侵入しやすくなると考えられています。足をきれいにしようとしてタオルで強く擦ったりすると、かえって目に見えない傷がついて菌の侵入を促しますので注意が必要です。